

POINT 1

特待奨学生制度

赤坂特待奨学生特別選抜入試、特待奨学生特別選抜入試、一般入試前期、大学入試センター試験利用入試の成績上位合格者を「特待奨学生」として選抜し、授業料の全部または一部に相当する額の奨学金を給付する制度です。

授業料の最大100%相当額を4年間（薬学部は6年間）給付

◆特待奨学生にはS・A・Bの3種類があり、4年間（薬学部は6年間）の授業料に対して特待奨学生Sは100%相当額、特待奨学生Aは50%相当額、特待奨学生Bは30%相当額の奨学金を給付します（ただし奨学金は各年度の授業料に振り替えます）。

特待奨学生制度の詳細

特待奨学生を選抜する入試	赤坂特待奨学生特別選抜入試／特待奨学生特別選抜入試			一般入試前期／ 大学入試センター試験利用入試										
選抜される特待奨学生 奨学金給付額	特待奨学生S 授業料100%相当額		特待奨学生A 授業料50%相当額		特待奨学生B 授業料30%相当額									
給付額	奨学金 給付額	奨学金 給付前の 学生納付金	→	奨学金 給付後の 学生納付金	奨学金 給付額	奨学金 給付前の 学生納付金	→	奨学金 給付後の 学生納付金						
薬学部	660万円	990万円	→	330万円	330万円	990万円	→	660万円	198万円	990万円	→	792万円		
医療福祉学部	選抜 しません			—	140万円	412万円	→	272万円	84万円	412万円	→	328万円		
赤坂心理・医療福祉マネジメント学部	280万円	412万円	→	132万円										
保健医療学部	看護学科 理学療法学科 作業療法学科 言語聴覚学科 視機能療法学科	610万円		→	250万円	610万円		→	430万円	108万円	610万円		→	502万円
		614万円		→	254万円	614万円		→	434万円		614万円		→	506万円
成田看護学部									選抜 しません					—
成田保健医療学部	360万円	590万円	→	230万円	180万円	590万円	→	410万円	108万円	590万円	→	482万円		
小田原保健医療学部	看護学科 理学療法学科 作業療法学科	614万円		→	254万円	614万円		→	434万円	選抜 しません			→	—
		610万円		→	250万円	610万円		→	430万円				→	—
福岡看護学部		614万円		→	254万円	614万円		→	434万円				→	—
福岡保健医療学部		565万円		→	205万円	565万円		→	385万円	108万円	565万円		→	457万円

※上記学生納付金は4年間（薬学部は6年間）の総額です。なお、学生納付金には、授業料以外に入学金（初年度のみ）、実験実習費（実習・文献費）、施設設備費（施設費）が含まれます。
 ※特待奨学生は、特待奨学生を選抜する入試において試験結果の科目合計得点率が60%以上の方を対象として選抜します。
 ※前年度の修学状況によっては、2年次以降、給付対象とならない場合があります。

特待奨学生Sは…

国立大学よりも安い、あるいは同程度の学生納付金で進学ができます。

※国立大学の学生納付金標準額（2018年度）

4年間：約242万円

6年間：約349万円

特待奨学生A・特待奨学生Bは…

他の私立大学に比べ、
学生納付金の負担は大幅に軽減
されます。

※医学部の入試制度の詳細は、別途ホームページなどで公表します。

全学部合わせて **最大462名*** の特待奨学生を選抜

* 医学部の特待奨学生は除いた人数です。

赤坂特待奨学生特別選抜入試／ 特待奨学生特別選抜入試

- ◆合格発表は12月。他大学と併願する受験生は、年内に進路を1つ確保しておくことができます。
- ◆特待奨学生とは別に一般合格のチャンスもあります。
- ◆特待奨学生特別選抜入試は複数学部併願により、入学検定料の割引制度があります。
- ◆特待奨学生特別選抜入試は地方試験場を設置します。

一般入試前期／ 大学入試センター試験利用入試

- ◆一般入試前期は試験日を選択することができます。
- ◆一般入試前期は地方試験場を設置します。
- ◆複数回受験により、入学検定料の割引制度があります。

特待奨学生 S

授業料100%相当額給付
90名選抜

特待奨学生 A

授業料50%相当額給付
182名選抜

特待奨学生 B

授業料30%相当額給付
190名選抜

学部・学科別 特待奨学生対象者数

キャンパス	学部	学科	赤坂特待奨学生特別選抜／ 特待奨学生特別選抜		一般前期	セ試利用	合計
			特待奨学生S	特待奨学生A	特待奨学生B		
大田原	薬学部	薬学科	20名	30名	25名	25名	100名
	医療福祉学部	医療福祉・マネジメント学科	—	15名	10名	10名	35名
	保健医療学部	看護学科	4名	6名	4名	4名	18名
		理学療法学科	4名	6名	4名	4名	18名
		作業療法学科	4名	6名	4名	4名	18名
		言語聴覚学科	4名	8名	4名	4名	20名
		視機能療法学科	3名	4名	3名	3名	13名
放射線・情報科学科	4名	6名	4名	4名	18名		
成田	成田看護学部	看護学科	4名	6名	—	—	10名
	成田保健医療学部	理学療法学科	4名	6名	4名	4名	18名
		作業療法学科	3名	4名	2名	2名	11名
		言語聴覚学科	3名	4名	3名	3名	13名
		医学検査学科	4名	8名	4名	4名	20名
東京赤坂	赤坂心理・医療福祉 マネジメント学部	心理学科	㊦ 2名	㊦ 5名/㊧ 6名	5名	5名	23名
	医療マネジメント学科	㊦ 2名	㊦ 5名/㊧ 6名	5名	5名	23名	
小田原	小田原保健医療学部	看護学科	2名	6名	—	—	8名
		理学療法学科	3名	6名	—	—	9名
		作業療法学科	3名	4名	—	—	7名
福岡	福岡看護学部	看護学科	2名	6名	—	—	8名
大川	福岡保健医療学部	理学療法学科	4名	6名	4名	4名	18名
		作業療法学科	3名	4名	3名	3名	13名
		言語聴覚学科	3名	4名	3名	3名	13名
		医学検査学科	5名	15名	4名	4名	28名

※㊦が赤坂特待奨学生特別選抜入試での特待奨学生選抜者数、㊧が特待奨学生特別選抜入試での特待奨学生選抜者数を示します。

※医療福祉学部では特待奨学生Sの選抜は行いません。

※成田看護学部、小田原保健医療学部、福岡看護学部では、特待奨学生Bの選抜は行いません。

特待奨学生 S 90名

特待奨学生 A 182名

特待奨学生 B 190名

全学部 合計
462名

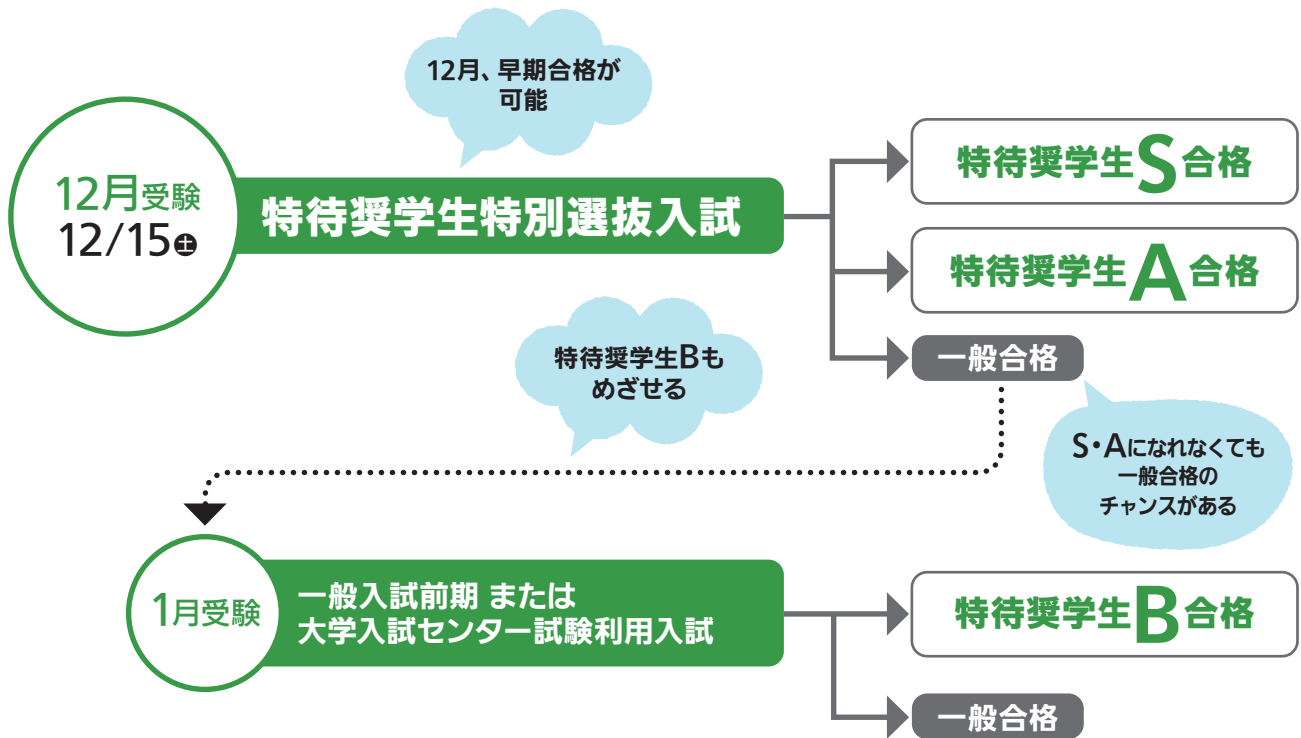
全入学定員の約4分の1に
特待奨学生のチャンス!

※医学部の入試制度の詳細は、別途ホームページなどで公表します。

特待奨学生をめざそう！

併願志望ならばまずは、特待奨学生特別選抜入試を受験しよう。

※赤坂心理・医療福祉マネジメント学部を志望される方はP.18もご覧ください。



AO入試や高校推薦入試合格者も 特待奨学生にチャレンジ!!

入学検定料 **10,000円**

特待奨学生特別選抜入試実施前に他の入試で合格している場合に特待奨学生特別選抜入試にチャレンジ受験が可能

入学の権利を確保したまま特待奨学生S・Aに挑戦できます。

※一般入試前期・大学入試センター試験利用入試で特待奨学生Bにチャレンジ受験することはできません。

チャレンジ受験で特待奨学生をめざそう！

チャレンジ受験とは、特待奨学生を選抜する入試が実施される前に、今年度実施する入試で入学手続した者が、入学の権利を確保したまま、入学手続をした学科を第一志望としてもう一度受験し、特待奨学生に挑戦することです。

1. 赤坂特待奨学生特別選抜入試にチャレンジ受験できる方

以下の入試における、赤坂心理・医療福祉マネジメント学部の入学手続者

- キャリア重視入試
- 高校推薦入試 [公募制・指定校制]
- 帰国生徒特別選抜入試 (出願時点では手続見込みの者も含む)
- 第1回社会人特別選抜入試
- 第1回留学生特別選抜入試

入学検定料は¥10,000

2. 特待奨学生特別選抜入試にチャレンジ受験できる方

■以下の入試における入学手続者

- AO入試
- キャリア重視入試
- 高校推薦入試 [公募制・指定校制]
- 帰国生徒特別選抜入試
- 第1回社会人特別選抜入試
- 第1回留学生特別選抜入試
- 第2回留学生特別選抜入試 (保健医療学部、医療福祉学部、薬学部、福岡看護学部、福岡保健医療学部のみ)
- 赤坂特待奨学生特別選抜入試における、一般合格での入学手続者 (出願時点では手続見込みの者も含む)

入学検定料は¥10,000

入学検定料は¥30,000

3. 一般入試前期と大学入試センター試験利用入試にチャレンジ受験できる方

赤坂特待奨学生特別選抜入試または特待奨学生特別選抜入試における一般合格での入学手続者 (成田看護学部、小田原保健医療学部、福岡看護学部は除く)

通常の入学検定料

■注意事項

- ・チャレンジ受験は、入学手続をしている学部・学科を第一志望学科として受験した場合に限りです。
- ・専願制入試入学手続者は特待奨学生を選抜する入試にチャレンジ受験をする際、第二・第三志望学科を選択することはできません。
- ・併願制入試の入学手続者が特待奨学生を選抜する入試で入学手続をしている学部・学科とは異なる学部・学科を第一志望学科として受験する場合は、チャレンジ受験には該当しません。
- ・チャレンジ受験をして特待奨学生に選抜されなかったとしても、入学に影響することはありません。
- ・専願制入試の既入学手続者は、チャレンジ受験をした結果特待奨学生に選抜されなかった場合でも、入学を辞退することはできません。

※医学部の入試制度の詳細は、別途ホームページなどで公表します。

入学検定料割引制度でお得に複数回受験

特待奨学生特別選抜入試

薬学部を除く複数の学部を同じ試験日に同じ試験場で併願受験できます。
複数の学部に出願する場合、

※薬学部は他学部と併願することはできません。

**2学部目の入学検定料が10,000円割引、
3学部目以降は1学部^{プラス}+10,000円で併願受験が可能です。**

1 学部のみ **30,000円**

2 学部 $30,000円 + 30,000円 = 60,000円$ ~~合計60,000円~~ **10,000円割引**

3 学部 $30,000円 + 30,000円 = 60,000円$ ~~合計90,000円~~ **合計 30,000円割引**

4 学部 $30,000円 + 30,000円 = 70,000円$ ~~合計120,000円~~ **合計 50,000円割引**

⋮

3学部目以降は
1学部につき
^{プラス}+10,000円で
受験できます。

一般入試前期

各学部で一般入試前期に2日間の試験日（A日程・B日程）を設けています。
同一学部*の一般入試前期A・B両日程に出願すると、

入学検定料が10,000円割引になります。

- 保健医療学部 ○医療福祉学部 ○赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ○小田原保健医療学部
○成田看護学部または成田保健医療学部 } *左記学部は2学部併願の場合でも入学検定料割引制度が適用されます。
○福岡看護学部または福岡保健医療学部

一般入試前期A日程 **30,000円** + 一般入試前期B日程 **30,000円** = ~~合計60,000円~~ **50,000円**

○薬学部

一般入試前期A日程 **35,000円** + 一般入試前期B日程 **35,000円** = ~~合計70,000円~~ **60,000円**

通常より
10,000円割引

大学入試センター試験利用入試

一般入試前期A・B両日程の出願に加えて、同一学部*の大学入試センター試験利用入試に出願すると、

入学検定料が20,000円割引になります。

- 保健医療学部 ○医療福祉学部 ○赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ○小田原保健医療学部
○成田看護学部または成田保健医療学部 } *左記学部は2学部併願の場合でも入学検定料割引制度が適用されます。
○福岡看護学部または福岡保健医療学部

一般入試前期A日程 **30,000円** + 一般入試前期B日程 **30,000円** + 大学入試センター試験利用入試 **20,000円** = ~~合計80,000円~~ **60,000円**

○薬学部

一般入試前期A日程 **35,000円** + 一般入試前期B日程 **35,000円** + 大学入試センター試験利用入試 **20,000円** = ~~合計90,000円~~ **70,000円**

通常より
20,000円割引

※医学部の入試制度の詳細は、別途ホームページなどで公表します。

学部の併願ができる

特待奨学生特別選抜入試で複数学部を併願する

試験当日に英語＋選択科目1科目＋小論文で受験すると最多で8学部を併願可能！

【英語＋選択科目1科目＋小論文】

保健医療学部
成田看護学部
成田保健医療学部
赤坂心理・医療福祉マネジメント学部

小田原保健医療学部
福岡看護学部
福岡保健医療学部

医療福祉学部

【選択科目2科目】

(うち1科目は英語または国語総合)

医療福祉学部へのみ出願する場合…
試験は選択科目2科目のみ！

※薬学部は他学部と併願することはできません。

※医療福祉学部を選択科目2科目のみで受験する場合、他の学部を併願することはできません。

※入学手続きがチャレンジ受験(P.11)する場合、入学手続きをしている学科以外の学部・学科に出願することはできません。

同一学部内で複数の学科を第一志望として出願することはできません。
第二・第三志望制度(P.14)を利用してください。

※成田看護学部と成田保健医療学部、もしくは福岡看護学部と福岡保健医療学部は、学部間で第二・第三志望制度を利用できるため2つのパターンでの出願が可能です。

<例> 成田看護学部と成田保健医療学部作業療法学科では…

①どちらも第一志望として成田看護学部と成田保健医療学部作業療法学科を併願し、特待奨学生に選ばれたほうに入学する。

②第二・第三志望制度を利用し、成田看護学部を第一志望、成田保健医療学部作業療法学科を第二志望として出願し、合格したほうに入学する。

…など

複数回受験で合格率アップ

複数回受験した場合、問題・試験場に慣れるほか、試験日によって自分の得意分野の問題が出題される可能性があります。

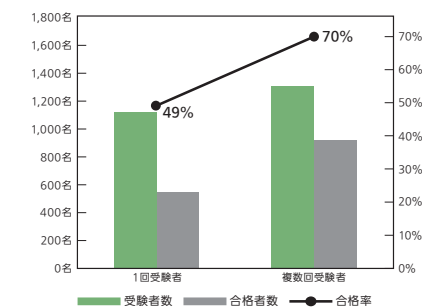
また、受験機会が増えることで、合格だけでなく特待奨学生へのチャンスもますます広がります。

- ◆赤坂特待奨学生特別選抜入試、特待奨学生特別選抜入試、一般入試前期の問題は、出題傾向や出題形式が似ています。
- ◆一般入試前期で同一学部・同一学科を2日間受験した場合は、成績のよい方で合格を判定します。
- ◆大学入試センター試験利用入試は試験場に行く必要がなく、最多で9学部の同時出願が可能です。

実際に…

一般入試前期A日程、一般入試前期B日程、大学入試センター試験利用入試では、いずれか1回のみを受験するよりも、それぞれを組み合わせる複数回受験の方が、合格率が高くなる傾向があります。

一般入試前期/大学入試センター試験利用入試
1回受験・複数回受験状況と合格率(2018年度入試実績)



	一般前期A日程・B日程・センター利用のいずれか1回を受験	一般前期A日程・B日程・センター利用を組み合わせて複数回受験
受験者数	1,120名	1,318名
合格者数	550名	923名

※医学部の入試制度の詳細は、別途ホームページなどで公表します。

複数の入試区分を利用して学部を併願する

併願制の赤坂特待奨学生特別選抜入試、特待奨学生特別選抜入試、一般入試前期、大学入試センター試験利用入試を組み合わせることで、複数の学部を併願できます。

- ◆ キャンパスや学部こだわることなく国際医療福祉大学に入学したいと思っている受験生、取得したい資格、なりたい職種が決まっている受験生にお勧めです。
- ◆ 同じ試験科目で複数学部を受験することもでき、受験対策がしやすくなります。

《学部間併願の例》

作業療法学科を第一志望とする場合

試験日程	特待奨学生特別選抜入試	一般入試前期				大学入試センター試験利用入試
保健医療学部	12/15	A日程 1/28		B日程 1/30		セ試利用
成田保健医療学部	12/15		A日程 1/29	B日程 1/30		セ試利用
小田原保健医療学部	12/15		A日程 1/29		B日程 1/31	セ試利用
福岡保健医療学部	12/15		A日程 1/29		B日程 1/31	セ試利用

↓

作業療法学科の併願パターン	12/15	1/28	1/29	1/30	1/31	セ試利用
	成田保健医療学部 小田原保健医療学部	保健医療学部	小田原保健医療学部	成田保健医療学部	小田原保健医療学部	成田保健医療学部 福岡保健医療学部

第二・第三志望制度を利用する

赤坂特待奨学生特別選抜入試、特待奨学生特別選抜入試、一般入試前期・後期、および大学入試センター試験利用入試では、第二・第三志望制度を実施します。

第一志望学科で合格基準に達しなかった場合、第二・第三志望学科で合格を判定します。

この制度により、一度の受験で第三志望学科まで選択できます。また、以下の組み合わせでは、両学部から第二・第三志望学科を選択することができます。

- 成田看護学部、成田保健医療学部
- 福岡看護学部、福岡保健医療学部

※保健医療学部、赤坂心理・医療福祉マネジメント学部、小田原保健医療学部では、第二・第三志望学科の選択は同一学部内の学科に限ります。

※医療福祉学部、薬学部では、第二・第三志望制度を実施しません。

保健医療学部放射線・情報科学科と視機能療法学科で迷っている場合（例）

A日程 1/28	第一志望	保健医療学部	放射線・情報科学科
	第二志望	保健医療学部	視機能療法学科
B日程 1/30	第一志望	保健医療学部	視機能療法学科
	第二志望	保健医療学部	放射線・情報科学科
セ試利用	第一志望	保健医療学部	放射線・情報科学科
	第二志望	保健医療学部	視機能療法学科

成田看護学部、成田保健医療学部の複数の学科で迷っている場合（例）

特待12/15	第一志望	成田保健医療学部	理学療法学科
	第二志望	成田保健医療学部	言語聴覚学科
	第三志望	成田看護学部	看護学科
A日程 1/29	第一志望	成田保健医療学部	言語聴覚学科
	第二志望	成田保健医療学部	理学療法学科
	第三志望	成田看護学部	看護学科
セ試利用	第一志望	成田保健医療学部	理学療法学科
	第二志望	成田保健医療学部	言語聴覚学科
	第三志望	成田看護学部	看護学科

第二・第三志望合格でも特待奨学生のチャンス！

赤坂特待奨学生特別選抜入試、特待奨学生特別選抜入試、一般入試前期、および大学入試センター試験利用入試において、第二・第三志望学科で合格した場合、第二・第三志望学科の成績上位者であれば、特待奨学生に選抜される可能性があります。

※医学部の入試制度の詳細は、別途ホームページなどで公表します。

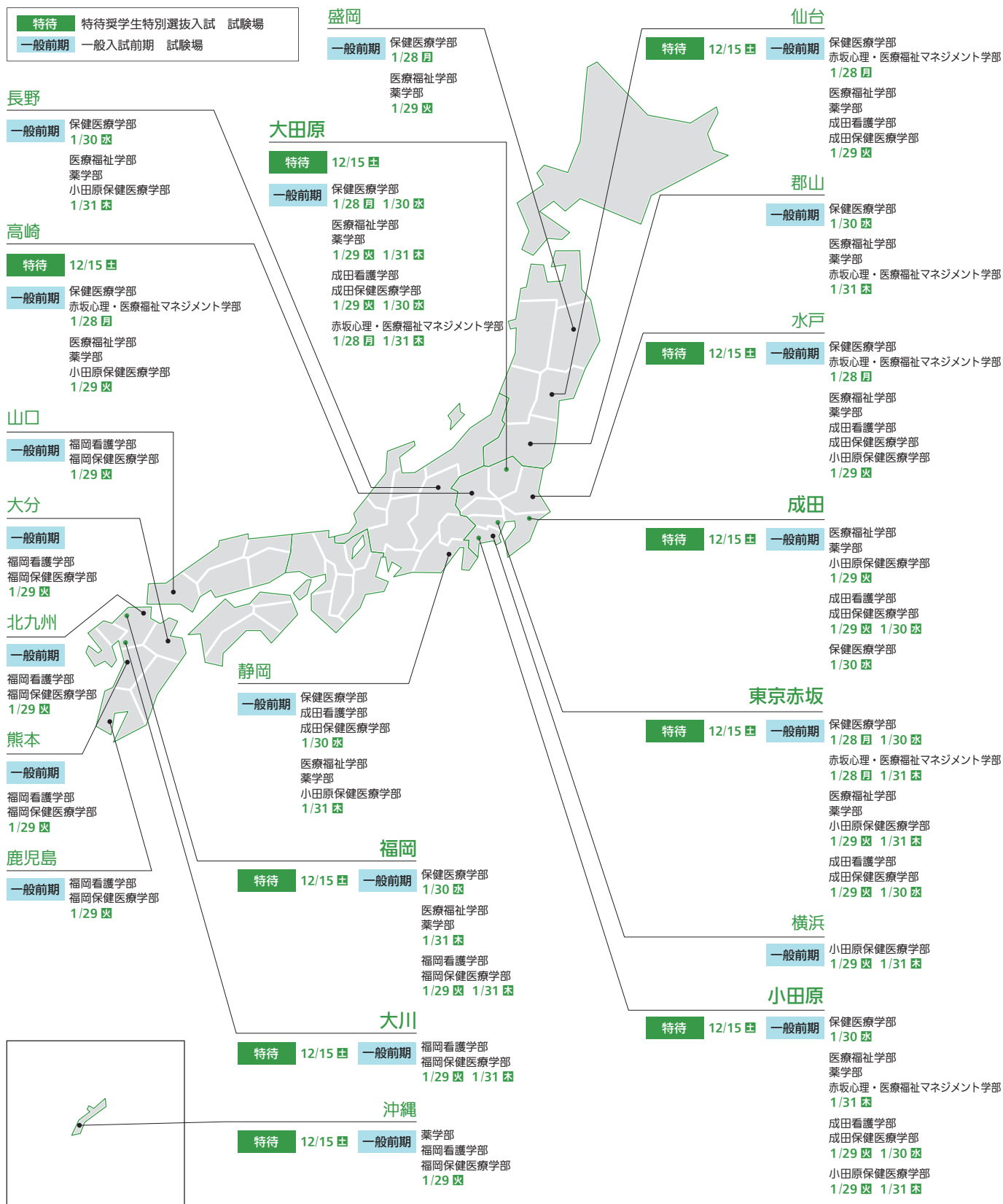
POINT

4

便利な地方試験場で受験しよう

特待奨学生特別選抜入試や一般入試前期では、本学の6キャンパスの他に地方試験場を設置しています。自宅から近い試験場で受験することができ、交通費や宿泊費といった経済的な負担や移動の負担が軽減されます。

① 特待奨学生特別選抜入試は志望学部に限らず、10ヶ所の試験場で受験可能です。



入試制度のポイント
地方試験場

※試験場の詳細は2019年度学生募集要項を確認してください。

※医学部の入試制度の詳細は、別途ホームページなどで公表します。